

令和6年度 横浜市新杉田地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

杉田地区は海側の工業地、低地の市街地、丘の上に形成された住宅地に大きく区分されます。3つの鉄道駅を中心に昔ながらの商店街や商業施設が集まり賑わいのあるまちですが、丘の上の住宅地等では移動や買物等に課題を感じている人も多く、令和2年10月より買物移動販売を開始しており、今後も地域主体で継続していけるよう支援を行っていきます。また、健民祭等の多世代交流行事、健康づくり活動などが盛んである一方、老人会や子供会の運営継続等に課題もあります。

第4期磯子区地域福祉保健計画をもとに、子どもから高齢者、外国にルーツを持つ方、障害のある方や病気などにかかわらず、誰もがお互いを気にかけてながら住み慣れた地域で安心して住み続けられる街づくりに取り組みます。令和6年度も引き続き子ども・子育てを推進テーマとし、杉田が子どもたちのふるさとなるようあいさつ運動などを実施し、自治会町内会や団体の垣根を越えて地域全体で子育てを支援していきます。

☐ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
■	☐	成年後見制度の利用や相談が増えており、制度利用が必要な方を早い段階から支援できるようにしていく。またサービス事業所や地域住民への制度の普及啓発を行い、早い段階で相談していただけるようにしていく。
■	☐	「高齢になっても自分の足で歩き続けられる体づくり」を目指し、フレイル予防を推進する地域の皆様と共に周知・啓発を進めて行きます。
■	☐	スイッチON杉田地区計画の推進について、「あいさつの取り組みを考える部会」の発足をきっかけに、地域での取り組みを、地域住民の皆さんが主体的かつ具体的に検討できるような体制づくりを行う。
☐	■	杉田地区社会福祉協議会買い物支援倶楽部に事務局として参加し、地域の買い物支援について、地域主体で検討がおこなえるように支援していく。
☐	☐	

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

【成年後見制度の普及啓発】
成年後見制度の利用が必要な高齢者には、ある程度理解力があるうちに、制度利用に向けて支援を行えている。CMや地域住民向けには研修や講座開催ができた。

【スイッチON杉田地区計画の推進】
あいさつの取り組みを考える部会を定期的に開催。杉田地区が一体となつて行う取り組みについて、地域住民の皆さんが主体となり、具体的な検討を重ねることができている。

【買い物支援】
移動販売事業者の撤退とブレ移動販売実施、区社協の移動支援助成金を利用した買い物ツアーについて買い物支援倶楽部で地域が主体的に検討できるように支援をおこないました。

☐ 区からのコメント

新規事業に数多く取り組んでいただき、ありがとうございます。スイッチON杉田地区計画の推進では、今年度あいさつ部会を立ち上げ、地域住民の皆さんのアイデアを効果的に引き出してまとめていただき、年度内にイベントを実施することができました。今後の杉田地区のスイッチONの事業推進の形を作り上げていただきたいと思います。買い物支援については、関係各所と丁寧に調整いただきありがとうございます。引き続き、買い物にお困りの地域住民の方のニーズと、実施可能性のバランスを探りながら、支援をお願いします。

地域ケア会議では、地域の課題に則したテーマを取り上げ、関係機関と調整・連携を重ねることで、解決への道筋を立てながら具体的な取組をすすめていただきました。成年後見制度については、ケアマネジャー向け研修を通じて、正しい理解が浸透し、ご本人やご家族への早いタイミングでのアプローチや分かりやすい説明、信頼関係の構築にも寄与しており、その積み重ねが制度の利用に結びついていると思います。引き続き、事業者向け研修企画を始め、地域の皆さまに制度の普及啓発をしていただき、早い段階で相談につながる効果的な取組になることを期待します。